

介助用・ティルト式

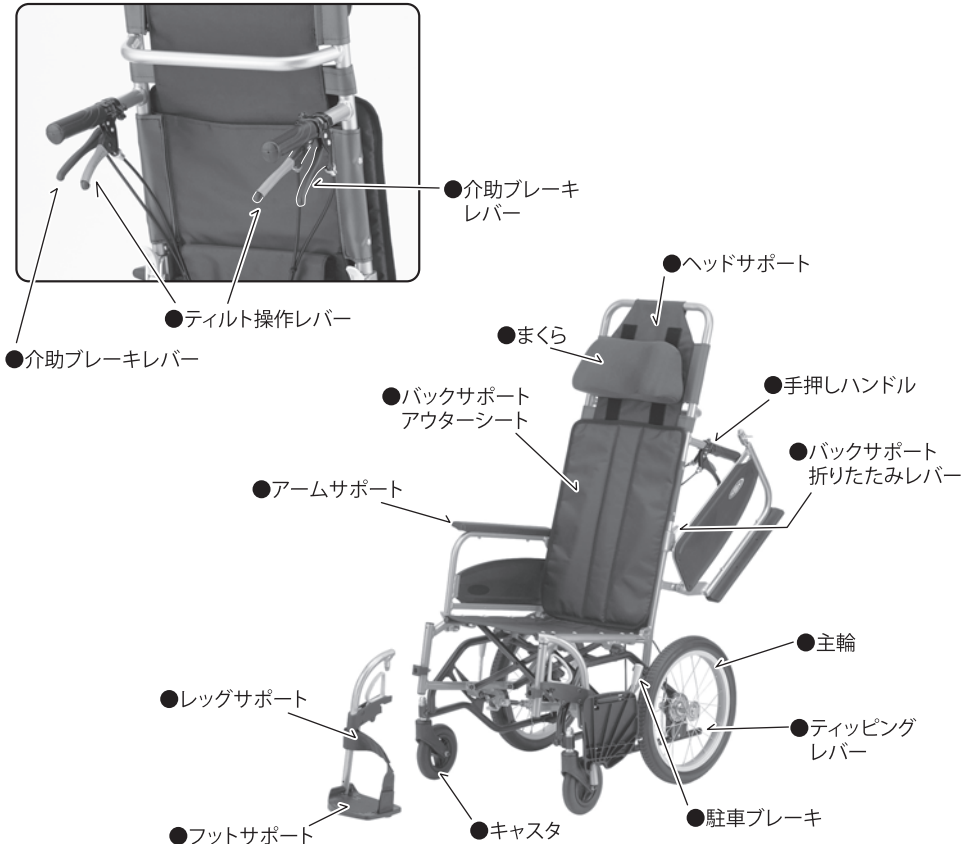
# NEO-10αW

## 取扱説明書

この度は、製品をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございます。製品を安全、快適にご使用いただくための大切な内容が記載されております。ご使用前に必ずお読みください。なお、保証書も掲載しておりますので、大切に保管してください。

目次はP 15に掲載しております

### 各部の名称



出荷時は運送時の安全の関係でフット・レッグサポートをはずして収納されている場合があります。フット・レッグサポートの取付け方につきましては、P 9をご覧ください。

## 仕様・サイズ

- 全長: 1 0 0 cm (9 7 cm)
- 全幅: 5 9 cm (3 3 cm)
- 全高: 1 2 8 cm (6 8 cm)
- シート幅<アームサポートパイプ内々>: 4 0 cm
- シート奥行: 4 0 cm
- バックサポート高: 5 0 cm
- ヘッドサポート高: 8 8 cm
- 前座高(ティルト角度0°時): 4 3 cm
- 後座高(ティルト角度0°時): 4 1 cm
- アームサポート高: 2 4 cm
- キャスト: 6 インチ P U
- 主輪: 1 6 インチノーパンク
- 重量: 1 7 . 3 kg
- ティルト角度: 0 ~ 2 7 °
- 耐荷重: 1 0 0 kg (積載物を含む)
- 主輪取付ナット: インチねじ (U N F 1 / 2 - 2 0 山) を使用

## バックサポートアウターシートの外しかた・取付かた



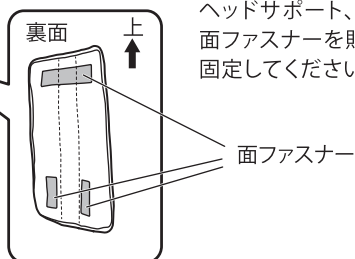
### 外しかた

バックサポートアウターシートは面ファスナーで貼り付けられています。面ファスナーを外して、バックサポートアウターシートをヘッドサポート及びバックサポートから外すことができます。



### 取付かた

バックサポートアウターシートの裏側とヘッドサポート、バックサポートの面ファスナーを貼り合わせてしっかりと固定してください。



## ヘッドサポートの外しかた・取付けかた

- ヘッドサポートの取り外しは、バックサポートアウターシートを外してから行います。  
(バックサポートアウターシートの外しかたにつきましては、P 2 をご覧ください)



### 外しかた

ヘッドサポートとバックサポートを貼り合わせている面ファスナーを外してからヘッドサポートを上方に引き抜くと、ヘッドサポートをバックサポートパイプから取り外すことができます。



### 取付け方

ヘッドサポートを、バックサポートパイプに奥までしっかりと差し込み、ヘッドサポートとバックサポートの面ファスナーを貼り合わせてしっかりと固定してください。

(面ファスナーでしっかりと固定され、ヘッドサポートを引き上げても抜けないことを確認してください。)



警告

NEO-10 α Wに搭乗の際は、必ずヘッドサポートを正しく装着してください。ヘッドサポートをはずして製品を使用しないでください。ヘッドサポートがはずれた状態での乗車は、搭乗者の身体や製品に悪影響を及ぼすおそれがあります。

# 車いすのひろげかた

- 1** 手押しハンドルを持って軽く左右にひろげてください。



- 2** 片方の手押しハンドルを持ち上げるように反対側の座面下のパイプ部を下の方へ押し下げます。

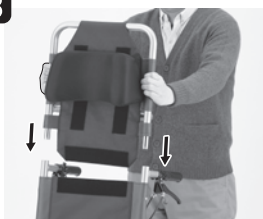


注意  
警告



押し下げの際、座面パイプの下側や横側に手や指を入れないでください。危険です。

**3**



ヘッドサポートを取付けます。  
(手順は P 3 を参照してください。)

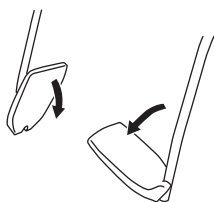
※しっかりと固定され、ヘッドサポートフレームを引き上げても抜けないことを確認してください。

**4**



バックサポート  
アウターシートを  
取付けます。  
(手順は P 2 を  
参照してくだ  
さい。)

**5**



フットサポートプレートを下方へ回転させるようにセットします。  
使用者が車いすに座ってから行うのが一般的です。

## 車いすの折りたたみかた

1



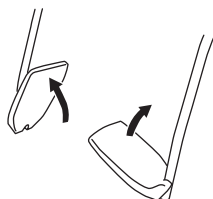
バックサポートアウターシートを  
はずします。  
(手順は P 2 を参照してください。)

2



ヘッドサポートフレームをはずします。  
(手順は P 3 を参照してください。)

3



フットサポートプレートを  
上方へ回転させて収納  
します。

4



座面シートの、前後中央部を  
持ち上げます。

5



手押しハンドルを持って、左右から  
押し縮めるように折たたんでください。

## バックサポートの折りたたみかた・固定のしかた

### 折りたたみかた



### 固定のしかた

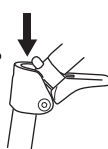


手押しハンドルを握り、上方へ引き起こすように持ち上げてください。左右のスライドピンが「カチッ」とロックされたことを必ず確認してください。

手押しハンドルを握り、一方の手でバックサポート折りたたみレバーを下に押しながら、手押しハンドルを手前に引くように少し折り曲げます。反対側も同様の手順で少し折り曲げてください。続いて、左右同時に折りたたみます。



**警告** 車いすに乗る際は、完全にバックサポートが固定されていることを確認してから、座ってください。

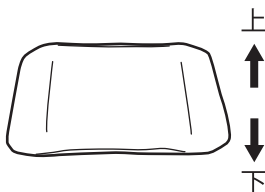


**注意**  
● 矢印の部分に手や指を置かないでください。  
● 矢印の部分にバックサポートシートをはさみこまないように注意してください。

## まくらの取付けかた



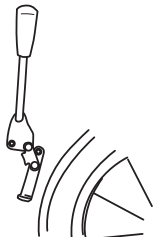
まくらは面ファスナーでヘッドサポートに貼り付けて固定します。高さは搭乗者の身体状況に合わせて調整してください。



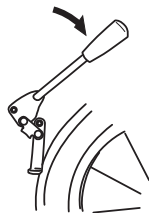
まくらは、幅の広い方が下側です。

## 駐車ブレーキのかけかた

### 解除時



### 駐車



● レバー先端のノブを手で引くと駐車ブレーキがかかります。レバーを戻した状態が解除です。

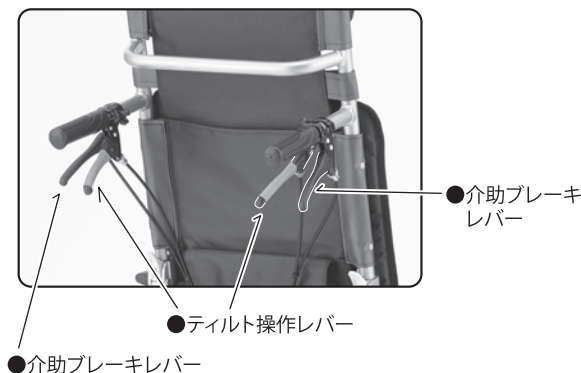


**警告**  
● 駐車時には必ず左右両方の駐車ブレーキを確実にかけてください。  
● しっかりブレーキをかけていても、乗降時などに、横から強い力が加わると車いすは簡単に動いてしまいますので、十分注意してください。  
● 坂の途中では駐車しないでください。やむを得ず駐車する場合は2輪以上に車止めをしてください。



**注意**  
● ブレーキレバーに体重をあずけたり、足でレバー操作するなど、レバーに強い力がかかる行為はしないでください。

## ティルト・介助ブレーキの操作方法



### ■ ティルトのしかた

左右のティルトレバーを手押しハンドルのグリップと一緒に握り、後方（もしくは前方）へ倒し、止めたい位置でレバーを離せば止まります。（ティルト操作は、介助者が胸や肩、腕で車いすをしっかりと支えながらゆっくりと行ってください。）



後傾ティルト（最大27°）



ティルト角度0°の状態



**注意  
警告**

ティルト動作は必ず駐車ブレーキをかけて行ってください。

ティルトを後傾から起こす際には、角度を一度に大きく戻さず、少しずつ起こし、搭乗者の様子を確認しながら起こしてください。急に大きく角度を起こすと、搭乗者の血圧が低下し、体調に悪影響を及ぼす可能性があります。

### ■ 介助ブレーキ（制動ブレーキ）のかけかた

左右の介助ブレーキレバーを同時に握ると介助ブレーキがかかります。

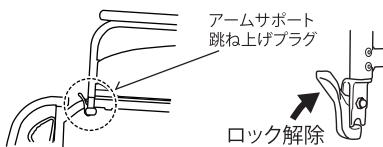


**禁止**

介助ブレーキは、駐車ブレーキとして使用することはできません。駐車目的では使用しないでください。

# アームサポートの跳ね上げのしかた・戻しかた

## 跳ね上げのしかた

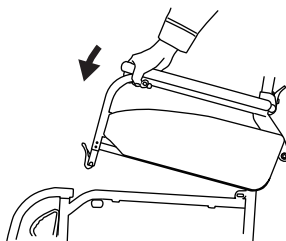


アームサポート先端のアームサポート跳ね上げプラグのレバーを後方に倒すと、アームサポートの固定(ロック)を解除することができます。

ロックを解除して、アームサポートを上回転させるように上げてください。



## 戻しかた



戻すときは、アームサポート跳ね上げプラグを握らずに、そのまま「カチッ」というまでアームサポートを押し下げてください。



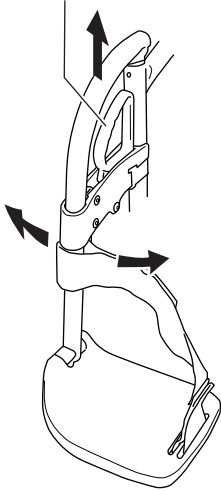
注意  
警告

- アームサポートを跳ね上げた状態で車いすを動かさないでください。
- 跳ね上げて移乗する際は必ず、アームサポート跳ね上げプラグがバックサポートパイプの前に出ない位置まで跳ね上げてください。
- 戻すときには、アームサポートと座面の間やジョイント部に、身体や衣服が挟まらないように注意してください。



# フット・レッグサポートの開閉のしかた・着脱のしかた

スイングイン・アウト用レバー

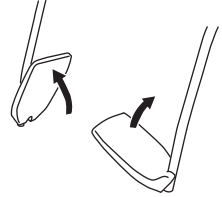


## 開閉のしかた・はずしかた

※乗車者の足をフットサポートから外した状態で操作を行ってください。

- スイングイン・アウト用レバーを握りながら、フット・レッグサポートを内側・外側へ回転させることで、フット・レッグサポートの開閉(スイングイン&スイングアウト)ができます。

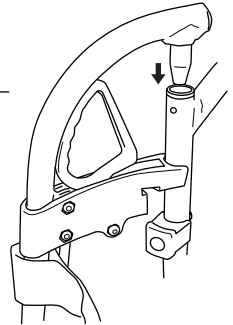
※フットサポートプレートがあたって、内側に回転できない場合は、フットサポートプレートを跳ね上げてから操作をしてください。



- スイングイン・アウト用レバーを握りながら、フット・レッグサポートを上方に引き上げると、フット・レッグサポートを本体からはずすことができます。

## 取付けかた

- ①フット・レッグサポートを外側に開いた状態の角度で、フット・レッグサポートのインナーパイプをフット・レッグサポート受けパイプの穴に、上からまっすぐ差し込みます。

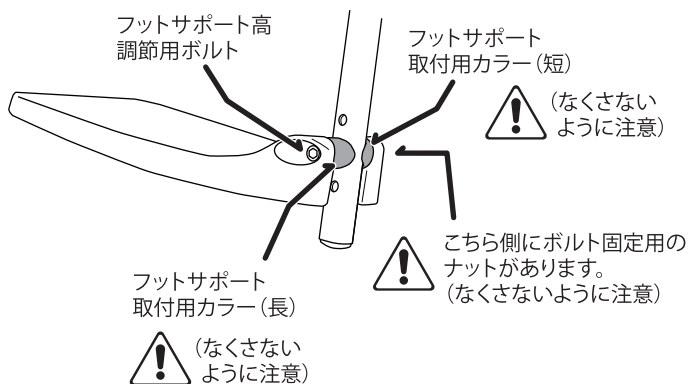


- ②スイングイン・アウト用レバーを握りながら、フット・レッグサポートがまっすぐになる位置まで、内側に回転させてください。

- ③フット・レッグサポートがまっすぐな正しい位置になったら、レバーから手を離してください。レバーが戻り、フット・レッグサポートがフレームに固定されていることを確認してください。(フット・レッグサポートが左右に動いたり、上方に抜けたりしないことを確認してください。)

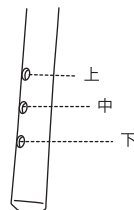
フット・レッグサポートの開閉・着脱操作は、フット・レッグサポートレバーを握りながら行います。

## フットサポートの高さの調節のしかた



レッグパイプの穴の位置による  
フットサポート・シート間距離

上	3 2 cm
中	3 4 cm
下	3 6 cm



- フットサポート高の調節用ボルトを5mmの六角レンチで緩めてはまずし、上図のように希望の高さの位置のレッグパイプの穴に取付けなおします。  
取付け時にはしっかりと調節用ボルトを締めて固定してください。  
(フットサポート取付け用カラーとナットをなくさないように注意してください。)

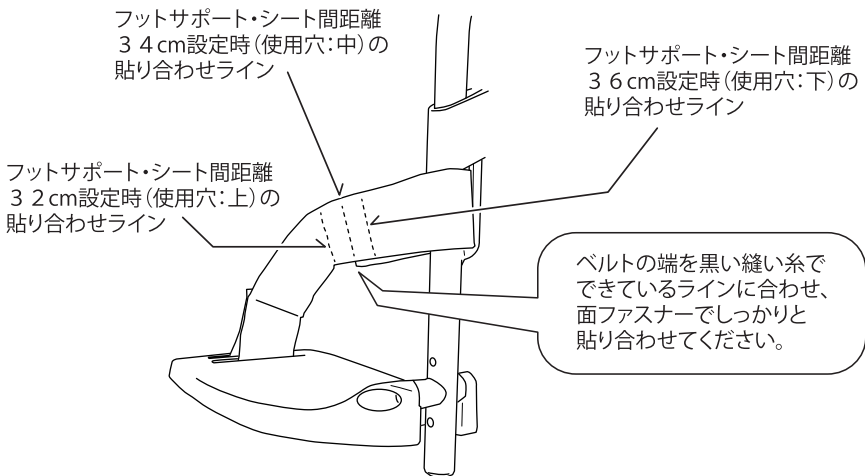


フットサポート高調節用ボルト・ナットの締め込みには、電動工具を使用しないでください。調節用、ボルト・ナットをきつく締めこみすぎると、製品が破損するおそれがあります。



各部の調節につきましては、専門知識と技術を持った販売店にご相談ください。

## レッグサポートの長さの調整



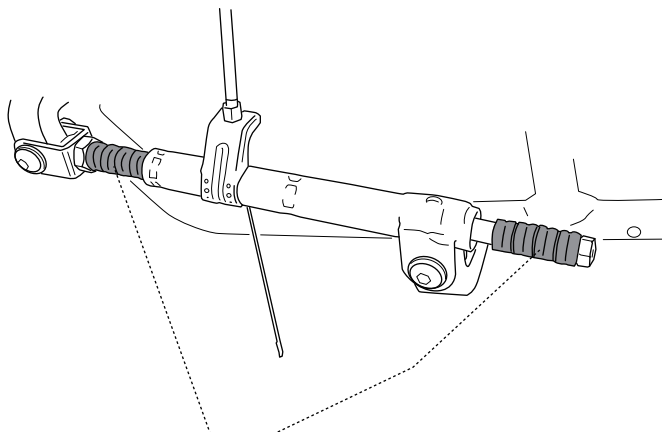
レッグサポートベルトは、設定のフットサポート高さ(P10参照)によって貼り合わせの位置をかえて、長さを調整してください。

上図のように、ベルトの端を、フットサポート高さの設定に応じたラインに合わせて、面ファスナーでしっかりと貼り合せてください。

(左右両方のレッグサポートの長さを、正しく調整してください。)

## 使用前点検(必ず行ってください)

- 介助ブレーキがしっかり効くかどうかご確認ください。
  - 駐車ブレーキがしっかり効くかどうかご確認ください。
  - ティルト操作が正常にできるかどうかご確認ください。
  - 介助ブレーキのワイヤーの張り具合が適当かどうか点検し、正常に動作するかどうかご確認ください。
  - ティルト操作のワイヤーの張り具合が適当かどうか点検し、正常に動作するかどうかご確認ください。
  - ネジ・ボルトのゆるみがないか、フレームのガタつきがひどくないかご確認ください。  
※特に、駐車ブレーキの取付け部や、車輪軸部は確実に確認してください。
  - シート・ベルトに亀裂や破れがないかご確認ください。
  - 主輪タイヤの溝がなくなりかけていないか、タイヤに亀裂がないか、ご確認ください。
  - 車輪のガタ・緩み・曲がり等がないかご確認ください。
  - 前輪キャスタ輪及びキャスタフォークに変形、ひび割れ等がないかご確認ください。
  - 前輪キャスタが緩んでいないか、抜け落ちていないかご確認ください。
  - ヘッドサポートが正しく装着されているかご確認ください。
  - 各部パーツの変形、破損がないかご確認ください。
- 
- 車いすベース部の、左右メカニカルロックパーツに装着されている黒色樹脂パーツ(ストッパー)がなくなっていないか、破損がないかをご確認ください。



ストッパー  
(黒色樹脂パーツ)  
車いす 1 台に 4 個  
装着されています。



警告

製品に異常がある場合は使用を中止し、すみやかに販売店に修理・部品交換・調整をご依頼ください。

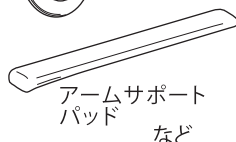
## メンテナンス・保管方法

- ボルトの緩み、フレームのガタなど目視や簡単に手で触って分かるようなチェックは、日常的に行ってください。
- 各部のメンテナンス（調節・補修・修理・部品交換等）はお買い上げの販売店にご依頼ください。
- シートが汚れた場合は中性洗剤を染み込ませた布で汚れを拭き取り、その後水で濡らした布で洗剤をきれいに拭き取ってください。汚れを取ったあとは、完全に乾燥させてからご使用ください。生乾きでの使用はカビや異臭の原因となります。
- 屋内の湿気が少ない場所に保管してください。雨に濡れる可能性のある場所や、湿気の高いところには保管しないでください。
- 直射日光の当たる場所や高温多湿な場所での長期保管は避けてください。



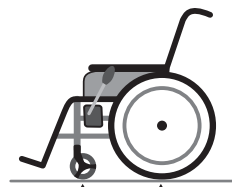
### ウレタン素材には寿命があります。

- クッション性に優れているウレタン素材は、使用頻度にかかわらず経年変化を起こし、割れ、ヒビ、崩れを起こし、破損するおそれがあります。
- 特に通気の悪い場所での長期間の保管は避けてください。
- 割れやヒビ、崩れ等の症状が発生した場合は使用を中止し、販売店に部品交換を依頼してください。



### 床材へのゴム汚染についてのご注意

- 塩化ビニール製のタイルやクッションフロア等は、ゴム製品が接することで、床材の成分とゴムの化学反応により、ゴム汚染とよばれる床の変色が発生する場合があります。
- ゴム製キャスト車輪やゴム製後輪タイヤを装着している車いすを塩化ビニール製の床で使用する場合、床に直接ゴム部分が触れないように、カーペットを敷くなどの対策をとってください。
- 床材へのゴム汚染の発生は一般的な事象であり、製品の瑕疵（かし）に起因するものではありません。





## 注意・警告

主に製品を使用する前にご注意をいただくことや、メンテナンス等についての注意

- 各部のガタつきやネジのゆるみ、タイヤのすりへり、その他の不具合により、思わぬ事故につながる可能性があります。定期的に取り扱い業者のチェックを受け、不具合がないか確かめてください。
- フレームの折れ、曲がり、シート・ベルト類の破損など壊れた状態での使用はしないでください。(使用中止し、すみやかに販売店へ修理、部品交換をご依頼ください。)
- 水にぬれた場合、そのまましておくとう製品に錆びやカビが出る場合があります。ぬれた場合は乾いた布ですみやかに拭きとってください。水中での使用はしないでください。
- 気温の差の激しい場所や異常に高温な場所(車中など)に製品を放置しないでください。フレームが痛むばかりでなく、熱くなったフレームで火傷をしたり、高温になったシートに座ることで体調に悪影響を与えることがあります。
- 改造や分解はしないでください。
- 当取扱説明書内に記載の寸法や重量の値には、製造の都合上、多少の誤差がありますのでご了承ください。

主に製品を使用中・走行中にご注意をいただくこと

- 使用者の体調が著しく低下しているときは、十分に注意して使用してください。
- 身体寸法や身体の状況が車いすに合わない場合は使用をしないでください。からだに合わない状況で製品を使用すると、製品の故障や事故、身体への悪影響につながるおそれがあります。
- 走行時には地面に凹凸や障害物がないか十分に注意してください。走行中、各部に凹凸や障害物が引っかかること、転倒や製品の破損のおそれがあります。
- 倒れかかるとような座り方や、身を乗り出すような座り方はしないでください。バランスをくずして転倒することがあります。
- 乗車中に大きな前かがみの姿勢をとらないでください。(例: 足下や前方にあるものを触ろうとしたり、拾おうとして、前かがみの姿勢にならないようご注意ください)。バランスをくずして車いす及び乗車者が前方に転倒するおそれがあります。
- 悪路や坂道では特に注意して操作してください。バランスをくずして転倒することがあります。
- エスカレーター及び動く歩道での使用はしないでください。転落、転倒による事故のおそれがあります。
- 公共交通機関で使用する際は、係員の指示に従い、安全に搭乗してください。
- 踏切りを横断の際は、車輪・キャスト輪をレールに対して直角にして走行してください。斜めの角度で進入するとレールの溝にはまる危険があります。
- 手押しハンドルや各部フレームなどに手荷物等を掛けないでください。荷物等が各部に当たり誤動作をしたり、バランスをくずして転倒するおそれがあります。
- フットサポートの上に立たないでください。製品の破損だけでなく、転倒による事故のおそれがあります。
- 坂道での駐車はしないでください。やむを得ず駐車する場合は2輪以上に車止めをしてください。
- 乗車者・介助者とも、車いす使用時には靴をはいてください。はだしで車いすを使用しないでください。思わぬケガのおそれがあります。

その他にご注意をいただくこと

- フレームの座面下側や、車輪、各部の隙間等に手を入れないうださい。各部が動いたり、でっぱりに手を触れたりすると、ケガのおそれがあります。
- 持ち運びの際は、メインフレーム以外を持たないでください。(アームサポートやフット・レッグサポート、手押しハンドル、ヘッドサポート、シート等を持って運ぶと、製品の破損や事故につながるおそれがあります。)
- 本書記載以外の使用はしないでください。
- 踏台や脚立・歩行器のかわりに使用しないでください。
- 子供に操作をさせないでください。
- 二人乗りなど多人数での使用はしないでください。
- 体重が製品の耐荷重を超える方の使用はしないでください。
- 周辺に小さなお子様がいるときは、指や手足を挟むなどして、ケガをするおそれがありますので十分にご注意ください。
- 製品をゆすったり、踏んだりなどの乱暴な取扱いをしたり、落としたり、たたいたりなどの強い力や衝撃を与えないでください。製品が破損することがあります。
- 製品の改良・改善により、詳細において本書の内容と異なる場合があります。不明な事柄につきましては、販売店までお問合せください。

---

# 目次

---

- P 1 … 各部の名称
- P 2 … 仕様・サイズ  
バックサポートアウターシートの外しかた・取付けかた
- P 3 … ヘッドサポートの外しかた・取付けかた
- P 4 … 車いすのひろげかた
- P 5 … 車いすの折りたたみかた
- P 6 … バックサポートの折りたたみかた・固定のしかた  
まくらの取付けかた  
駐車ブレーキのかけかた
- P 7 … ティルト・介助ブレーキの操作方法
- P 8 … アームサポートの跳ね上げのしかた・戻しかた
- P 9 … フット・レッグサポートの開閉のしかた・着脱のしかた
- P 10 … フットサポートの高さの調整のしかた
- P 11 … レッグサポートの長さの調整
- P 12 … 使用前点検(必ず行ってください)
- P 13 … メンテナンス・保管方法  
ウレタン素材には寿命があります  
床材へのゴム汚染についてのご注意
- P 14 … 注意・警告
- P 15 … 目次
- P 16 … 保証規定・品質保証書

## 保証規定

### I. 保証の範囲

- 保証期間中に品質の不完全に基づく故障を生じた場合には下記の保証書により無料で修理いたします。
- 保証期間はご購入後1年間です。
- 但し、次の場合は保証期間中でも有料になります。
  - 取扱い過誤による故障。
  - 製品に改造を加えた場合の故障。※純正品以外の部品を使用した場合も含みます。
  - 天災、地震等による故障ならびに損傷。
  - 消耗部品、タイヤなど。
  - 保証書にお買い上げ店名の記載、捺印のない場合。
  - 保証書のご提示がない場合。
- 以上の保証は本製品を日本国内に設置した場合に限りです。
- この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

### II. サービスのご用命

保証期間中、万一故障が生じた場合はお買い上げの販売店へ保証書を添えてお申し出ください。

### III. ご注意

保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

機 種		NEO-10αW		
お客さま	ご住所	見本		
	(フリガナ) ご氏名			
お買い上げ日		年	日	保 証 有 効 年 月 日 まで
販売店		見本		®
製造元	日進医療器株式会社			
	〒481-8681 愛知県北名古屋市中村権現3 5番地の2 TEL<0568>21-0635(代) FAX<0568>23-2787			

## 日進医療器株式会社

本 社 〒481-8681 愛知県北名古屋市中村権現3 5番地の2  
TEL<0568>21-0635(代) FAX<0568>23-2787  
東京営業所 〒112-0002 東京都文京区千石2丁目 2-1  
TEL<03>3943-5200(代) FAX<03>3943-5222  
大阪営業所 〒533-0013 大阪府大阪市東淀川区豊里 6-16-10  
TEL<06>6323-8265(代) FAX<06>6326-2554  
九州営業所 〒812-0876 福岡県福岡市博多区昭南町2丁目 3-8  
TEL<092>513-5036(代) FAX<092>513-5038

### 製品の廃棄方法

ご不用となった製品を処分される場合の廃棄方法につきましては、お住まいの自治体のルールに従ってください。